

1.

実施月日	テーマ・演題	コーディネータ・講師
平成4年 10月15日 -16日 (木-金) 参加者 391名	『ライフサイエンスの進展とこれからの健康』 (千里ライフサイエンスセンタービル5階 ライフ ホール) — 演題 — ・日本におけるバイオメディカルサイエンス 進展の歴史的背景と今後の国際的役割 ・遺伝子操作による哺乳類記憶機構の研究 ・心と行動の脳機構の解明に向けて  ・遺伝子工学の臨床的応用 ・循環器病の予防について ・発癌研究の歴史と展望 ・プリオン病の分子生物学  ・医学の進歩とクオリティ オブ ライフ	— 講師 — ラホイヤ・アレルギー免疫研究所 マチューセツ工科大学 理化学研究所・国際フロンティア研究システム長 伊藤 正男 国立病院医療センター 院長 高久 史麿 国立循環器病センター 総長 尾前 照雄 ロックフェラー大学 教授 花房秀三郎 チューリッヒ大学 教授 チャールズ・ワイスマン 評論家 柳田 邦男

2. セミナー

実施月日	テーマ・演題	コーディネータ・講師
平成4年 4月24日 (金) 参加者 143名	『複合糖質研究と臨床医学の接点』 (信用保証ビル3階) — 演題 — ・ムチン糖鎖と臨床医学の接点 ・ムチンコア蛋白のモノクローン抗体： 第二世代の抗体 ・糖転移酵素と臨床医学の接点 ・硫酸化キチン誘導体による癌転移の抑制  ・細胞接着と糖鎖	大阪大学医学部 教授 谷口 直之 京都産業大学工学部 教授 山科 郁男  — 講師 — 京都産業大学工学部 教授 山科 郁男 札幌医科大学第一内科 講師 今井 浩三  大阪大学医学部 教授 谷口 直之 北海道大学免疫科学研究所 助手 済木 育夫 愛知県がんセンター研究所 部長 神奈木玲児
9月18日 (金) 参加者 171名	『血管病変の分子生物学』 第3回 (千里ライフサイエンスセンタービル 5階 ライフホール) — 演題 — ・内皮細胞と血球細胞のインタラクション ・平滑筋細胞のフェノタイプと細胞増殖 ・PAF受容体と情報伝達 ・EDRFと動脈硬化, リポ蛋白 ・プロスタグランディンの生化学と分子生物学	国立循環器病センター研究所 副所長 山本 章  — 講師 — 自治医科大学 教授 島田 和幸 千葉大学医学部 講師 齋藤 康 東京大学医学部 助手 和泉 孝志 神戸大学医学部 教授 横山 光宏 徳島大学医学部 教授 山本 尚三
10月2日 (金) 参加者 132名	ブレインサイエンスシリーズ 第4回 『学習・記憶の分子機構』 — 演題 — ・グルタミン酸受容体の多様性  ・グルタミン酸受容体の生理機能と可塑性 ・グルタミン酸受容体の脳内分布 ・大脳皮質におけるシナプス可塑性のメカニズム ・長期抑圧の分子機構とグルタミン酸 ・グルタミン酸と精神疾患	大阪大学医学部 教授 遠山 正彌  — 講師 — 京都大学医学部 助手 榎 正幸 京都大学医学部 教授 中西 重忠 九州大学理学部 教授 杉山 博之 大阪大学医学部 助教授 木山 博資 大阪大学医学部 教授 津本 忠治 理化学研究所 特別研究員 岡田 大助 国立精神・神経センター神経研究所 室長 西川 徹
11月27日	『老化と老年病(1)』	大阪大学 名誉教授 熊原 雄一

<p>(金) 参加者 74名</p>	<p>『最近の進歩』 — 演題 —</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 老年者における正常値と老化の指標</li> <li>・ 老化促進モデルマウス (SAM)</li> <li>・ 老化と遺伝子発現制御—エンドセリンの例—</li> <li>・ 老化、癌化とDNAのメチル化</li> <li>・ 早老症の分子遺伝学</li> </ul>	<p>大阪大学医学部 教授 荻原 俊男 — 講師 — 名古屋大学 名誉教授 中津川市民病院 院長 葛谷 文男 京都大学胸部疾患研究所 工業技術院微生物工業技術研究所 教授 竹田 俊男 首席研究官 三井 洋司 東北大学医学部 教授 小野 哲也 大阪大学医学部 講師 三木 哲郎</p>
<p>12月15日 (火) 参加者 108名</p>	<p>『複合糖質研究を深める —分子認識から神経科学まで—』 — 演題 —</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 糖鎖生物学と神経科学の接点</li> <li>・ 糖に結合する接着分子を介した細胞認識</li> <li>・ フィブロネクチンと細胞認識</li> <li>・ 糖脂質と神経科学</li> <li>・ 細胞分化制御と糖脂質糖鎖</li> <li>・ 神経系糖鎖と細胞認識</li> </ul>	<p>大阪大学医学部 教授 谷口 直之 東京都臨床医学総合研究所 所長 理化学研究所国際フロンティア糖鎖機能研究 グループ 永井 克孝 — 講師 — 東京都臨床医学総合研究所 理化学研究所 永井 克孝 東京大学薬学部 教授 入村 達郎 大阪府立母子保健総合医療センター 研究所長 関口 清俊 理化学研究所 チームリーダー 平林 義雄 自治医科大学 教授 斎藤 政樹 京都大学薬学部 教授 川寄 敏祐</p>
<p>平成5年 1月14日 (木) 参加者 239名</p>	<p>『細胞におけるシグナル伝達』 — 演題 —</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 免疫細胞シグナル伝達系におけるチロシンキナーゼの役割</li> <li>・ イノシトールリン脂質と情報伝達</li> <li>・ セリン/スレオニンキナーゼとシグナル伝達</li> <li>・ ホスファターゼとシグナル伝達</li> <li>・ G蛋白質とシグナル伝達</li> <li>・ 細胞骨格・膜骨格とシグナル伝達</li> <li>・ 細胞増殖とシグナル伝達 —酵母をモデル系として—</li> </ul>	<p>神戸大学医学部 教授 高井 義美 — 講師 — 東京大学医科学研究所 教授 山本 雅 東京大学医科学研究所 教授 竹縄 忠臣 東京大学理学部 助手 西田 栄介 京都大学理学部 教授 柳田 充弘 神戸大学医学部 教授 高井 義美 岡崎国立共同研究機構 生理学研究所 教授 月田承一郎 名古屋大学理学部 教授 松本 邦弘</p>
<p>2月3日(水) 参加者 122名</p>	<p>幹細胞シリーズ 第2回 『リンパ球系』 — 演題 —</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ -Introduction-リンパ球の発生・分化にかかわる分子</li> <li>・ 血液幹細胞の分化とその機能の解析</li> <li>・ 造血幹細胞の発生とT細胞分化</li> <li>・ B細胞分化とストローマ細胞</li> <li>・ T細胞の胸腺内分化</li> <li>・ NKおよびT細胞の胸腺外発生</li> </ul>	<p>大阪大学医学部 教授 岸本 忠三 熊本大学医学部 教授 西川 伸一 — 講師 — 大阪大学医学部 教授 岸本 忠三 熊本大学医学部 教授 須田 年生 東京大学医学部 助教授 生田 宏一 熊本大学医学部 教授 西川 伸一 京都大学胸部疾患研究所 教授 桂 義元 京都大学医学部 教授 湊 長博</p>
<p>2月12日 (金) 参加者 131名</p>	<p>『新しい実験医学の展開—遺伝子から個体へ—』 — 演題 —</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ SCID (Severe combined immunodeficient) マウスの臨床への応用：SCIDマウスへのヒト自己免疫疾患のトランスファー</li> <li>・ 細胞死と自己免疫疾患</li> <li>・ ウィルス遺伝子機能の個体レベルでの解析</li> <li>・ ヒト遺伝子機能の実験的解析</li> <li>・ ヒトのモデルとしてのマウス</li> </ul>	<p>九州大学生体防御医学研究所 教授 勝木 元也 — 講師 — 大阪大学医学部 助手 佐伯 行彦 大阪バイオサイエンス研究所 研究部長 長田 重一 東京大学医科学研究所 助教授 岩倉洋一郎 九州大学生体防御医学研究所 教授 勝木 元也 熊本大学医学部附属遺伝発生医学 研究施設 教授 山村 研一</p>

<p>3月12日 (金) 参加者 記録なし</p>	<p>ブレインサイエンスシリーズ 第5回 『脳のトランスポーターとその機能』 — 演題 —</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・神経伝達物質のトランスポーターの構造・機能・分布 —ドーパミントランスポーターを中心に—</li> <li>・GABAトランスポーターとその制御</li> <li>・ベタインおよびミオイノシトールトランスポーター—有機浸透圧物質とそのトランスポーターの構造と機能—</li> <li>・糖輸送担体 Glucose Transporters</li> <li>・シナプス小胞におけるH<sup>+</sup>-ATPaseと伝達物質の濃縮機構</li> <li>・トランスポーターのイメージング</li> </ul>	<p>大阪大学医学部 教授 遠山 正彌</p> <p>— 講師 —</p> <p>大阪大学医学部解剖第2講座 助手 島田 昌一</p> <p>広島大学歯学部歯科薬理学講座 助手 北山 滋雄</p> <p>神戸大学医学部薬理学講座 講師 斎藤 尚亮</p> <p>大阪大学医学部内科学第一講座 医員 山内 淳</p> <p>京都大学医学部臨床代謝栄養学講座 助教授 清野 裕</p> <p>大阪大学産業科学研究所合成化学 工業部門 教授 二井 将光</p> <p>大阪大学医学部トレーサー情報解析学 講座 教授 西村 恒彦</p>
---------------------------------------	---	--

### 3. 千里ライフサイエンス技術講習会

実施月日	テ ー マ	LF以外の主催団体 & コーディネーター
<p>第2回 平成4年 9月3,4日</p> <p>(①、②の 2グループに分けて、 1日ずつ交替 制で実施) 参加者 28名</p>	<p>(場所：大阪大学医学部) 『神経科学』</p> <p>①神経細胞内カルシウムの測定法</p> <p>②mRNAのアリカツカ<sup>®</sup>エル卵母細胞への注入とその機能 発現</p>	<p>— コーディネーター —</p> <p>大阪大学医学部解剖学第2講座 教授 遠山 正彌</p> <p>— LF以外の主催団体 —</p> <p>大阪大学医学部</p> <p>— 講師 —</p> <p>大阪大学医学部解剖学第2講座 助教授 木山 博司, 助手 島田 昌一</p> <p>大阪大学医学部附属バイオメディカル研究 教育センター高次神経医学部門 助教授 塩坂 貞夫 吉田 成孝、高橋 正紀</p>

### 4. 調査研究

テ ー マ	期 日
創薬科学の研究開発拠点整備に関する基礎調査 (大阪府委託調査)	平成5年3月
「高次情報制御機構」に関する研究 (平成4年度自主調査研究)	平成5年3月

### 5. 千里ライフサイエンス市民公開講座「成人病シリーズ」

コーディネーター：国立循環器病センター 名誉総長、当財団 副理事長 尾前 照雄

実施月日	テーマ・演題	座長・講師
<p>第4回 平成4年 5月16日 参加者 382名</p>	<p>『老年期痴呆症』 — 演題 —</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催に当たって</li> <li>・老年期痴呆症の現状</li> <li>・老年期痴呆症の予防</li> <li>・パネルディスカッション今、素敵に歳を重ねるために</li> </ul>	<p>尾前 照雄 — 講師 —</p> <p>岡田 善雄 国立下総療養 所長 大塚 俊男 社会福祉法人浴風会 院長 大友 英一</p>
<p>第5回 8月22日 参加者 483名</p>	<p>『脳卒中』 — 演題 —</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催にあたって</li> <li>・内科からみた脳卒中</li> <li>・手術を必要とする脳卒中-最近の進歩-</li> </ul>	<p>尾前 照雄 — 講師 —</p> <p>岡田 善雄 国立循環器病センター脳血管内科 部長 山口 武典 国立循環器病センター脳血管外科</p>

	・脳卒中の予防	大阪府立公衆衛生研究 部長 米川 泰弘 所長 小町 喜男
第6回 平成5年 1月30日 参加者 385名	『骨・関節疾患』 — 演題 — ・開催にあたって ・カルシウムと健康 ・中高年の腰痛 ・更年期と骨代謝	尾前 照雄 — 講師 — 岡田 善雄 国立療養所兵庫中央病 院長 藤田 拓男 労働福祉事業財団関西労災病院 整形外科部長 米延 策雄 鹿児島大学医学部 教授 永田 行博

6. 千里ライフサイエンスフォーラム

実施月日	テーマ・講演	講師名(所属)
1回 平成4年 9月18日 参加者 26名	『バイオサイエンスの芽生えの頃』 — 発見の現場 —	千里ライフサイエンス振興財団 理事長 岡田 善雄
2回 10月16日 参加者 30名	『理学部生物化学から通産省生物化学産業課 まで』	武田薬品工業株式会社 取締役 杉野 幸夫
3回 11月19日 参加者 31名	『放射線は寿命を延ばすか、縮めるか』 [KRFとのジョイント フォーラム]	国立大阪病院 院長 古川 俊之
4回 11月25日 参加者 27名	『無秩序の科学カオス』 (相対論・量子論に 続く20世紀最大の発見の一つ)	京都大学工学部 教授 上田 皖亮
5回 12月17日 参加者 25名	『カラオケと日本文化』 — 20世紀文化を考える —	国立民族学博物館 助教授 櫻井 哲男
6回 平成5年 1月13日 参加者 32名	『日本人とお酒』 — 宴と酒菜の文化 —	月桂冠株式会社 代表取締役 副社長 栗山 一秀
7回 2月19日 参加者 34名	『最近の動物行動学から』	京都大学理学部動物学教室 教授 日高 敏隆
8回 3月18日 参加者 33名	『大阪サイエンスのルーツ』 — 蘭学と適塾 —	(財) 蛋白質研究奨励会 ペプチド研究所 所長 芝 哲夫